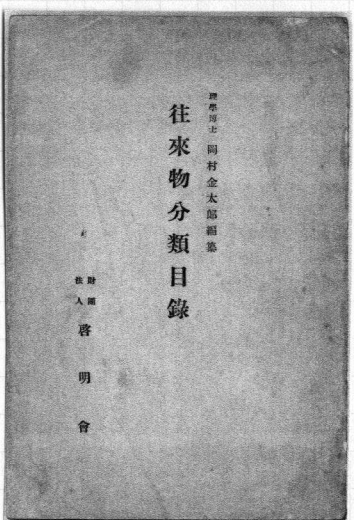


岡村金太郎 きんたろう 海藻學・水産學者、往來物研究家。慶應二年四月（二百）江戸芝新井町生れ、昭和十年八月（二千一百）歿（一八七七一—一九三三）。攻玉塾を経て、明治二十（一九）年帝國大學理科大學卒。大學院に進み海藻學を専攻。水産傳習所教師、第四高等中學校教授となり、（一九一八年）理學博士。二十年水産講習所講師、のち教授、所長に至る。論文（二百）四十七篇、大著『日本海藻誌』等々著はし、殊に藻草海苔の研究が知られ、養殖を朝鮮にも広めて、岩面掃除器を考案。また、へび（アライシ）トシの文字を作った。日本水産學會會長。

傍ら大正五年以降、初期より明治二十二年教育勅語發布年までの、廣義に及ぶ往來物への蒐集調査、『往來物分類目録』（大正十一年刊）、補遺追加再版・十四年四月（二百）啓明會事務所）を編集上梓した。他に『徳川時代庶民教養の教科書たる往來物の就き』（大正十一年一月）『二百啓明會事務所「啓明會第九回講演集」』がある。



著者岡村金太郎編纂
往來物分類目録

啓明會